

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料 [IFRS]

（2026年4月－2026年9月）

LIXIL 株式会社 LIXIL
2026年10月30日

証券コード：5938



2027年3月期上期 業績の総括

2027年3月期 上期実績 前年同期比、増収減益、EBITDAは減少

国内

- ・ 地金・資材のコスト上昇が本格化、価格改定効果の発現が限定的となり、一時的に収益性悪化
- ・ 特に、LHTのアルミ価格上昇による原価影響、リフォーム売上比率の低下により、前年比減益
- ・ LWT国内事業はリフォーム売上が回復し、前年比増益

海外

- ・ 海外は米国・中国の住宅需要低迷継続するも、欧州・IMEA地域が堅調に推移したことより、前年比増益

その他

- ・ 通期業績予想・配当予想に変更なし
- ・ 中間配当は、期初予想通りの45円を決議

水まわりはリフォーム売上回復、LHTは補助金対象商材含むリフォーム売上の拡販で、下期に回復を目指す

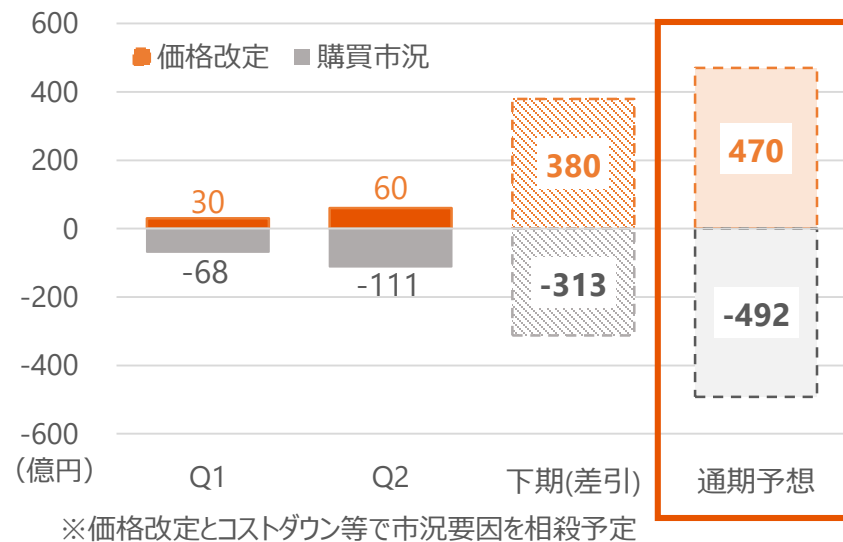
上期実績

- 2Qより地金・資材のコスト上昇が本格化
- 追加の価格改定は、8月ならびに10月以降に実施するため、上期における効果発現は限定的
- 1Qは、供給不安により新築が優先されたが、2Qに入り、水まわりのリフォーム売上は回復

下期の見通し

- 価格改定効果は発現前提も、量影響は要注視
- 水まわりリフォーム売上の回復は継続する見込み
- LHTは季節性による3Q偏重に加え、補助金対象商材によりリフォーム売上回復見込み
- 量影響と製品ミックスの利益への影響は要注視

価格改定と購買市況の推移



アルミ価格

出所：LME 3ヵ月先物 (25/7/1-26/10/23)



LWT事業（海外）は前年比増収増益。中東情勢に伴う原材料高・物流費の影響を受けるも、価格改定・構造改革効果により増益維持

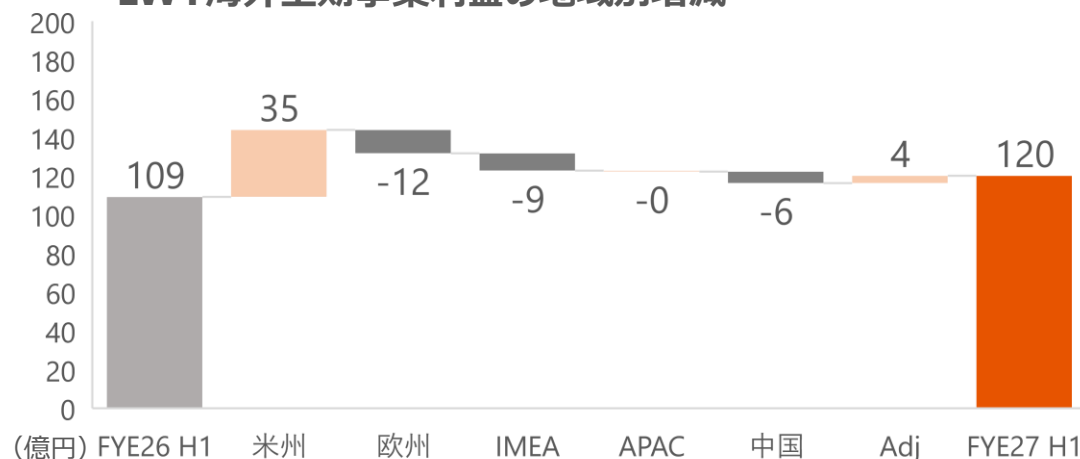
上期実績

- 米州は構造改革効果により赤字幅減少
- 欧州は金利・インフレによる需要の鈍化が収益性に影響
- IMEAは売上堅調も、コスト増により減益
- APACは回復基調維持、中国は低迷継続

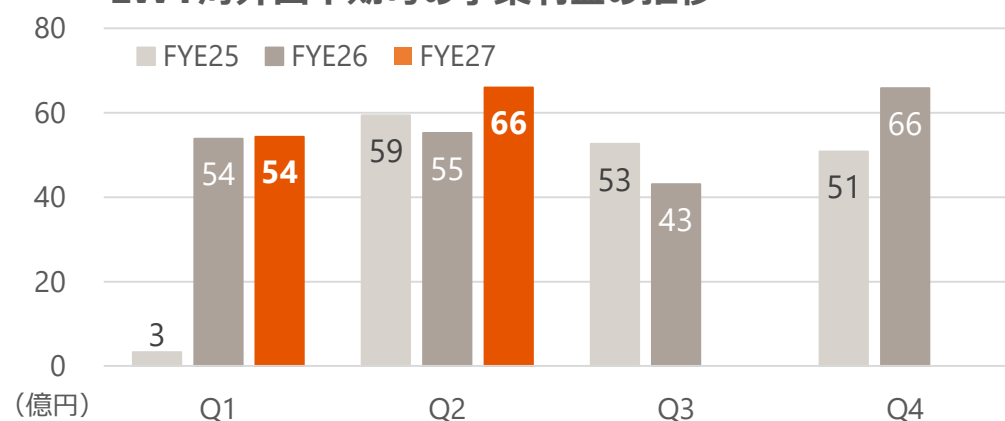
下期の見通し

- 米国は住宅市場の更なる悪化が懸念材料
- 欧州は政情不安で回復が停滞しており要注視
- IMEAは中東情勢影響はあるも、価格改定・製品ミックス改善によりコスト上昇の影響を最小化
- 銅価格、物流/燃料価格の上昇が懸念材料

LWT海外上期事業利益の地域別増減⁽¹⁾



LWT海外四半期毎の事業利益の推移



(1) 地域別増減はマネジメントベースの数字

欧州、IMEA、APACは売上伸長を継続、米州は売上横ばいなるも赤字幅は減少



米州

■ 市場の動向

住宅ローン金利の上昇により、住宅需要は一層悪化

■ 足元の進捗

構造改革効果が発現継続し、上期赤字幅は改善
GROHEとASBの販売を分け、それぞれの特性を活かして拡販推進

■ 下期の見通し

住宅市場の低迷は継続
売上回復・価格改定による収益の改善、コスト抑制による収益性維持を目指す



欧州

■ 市場の動向

各国の政情不安により回復が停滞。今後の各国の需要動向につき要注視

■ 足元の進捗

前年比増収を維持。価格改定にて原材料価格高騰をオフセットし、収益性の維持を目指すも、銅価格、物流/燃料価格等のコスト上昇は懸念材料

■ 下期の見通し

仏など事業環境の悪化の兆しあり、状況を注視。高付加価値新商品の拡大、コスト管理の徹底により収益性維持を目指す



IMEA

■ 市場の動向

情勢緊迫化により中近東諸国の成長に停滞の兆しあり

■ 足元の進捗

シェア拡大により売上伸長する見込みなるも、中東情勢による海上運賃高騰・原価上昇によるコスト増が先行し減益傾向

■ 下期の見通し

需要変動が続く中、市場シェアの拡大を図り、価格改定と製品ミックス改善により利益率維持を目指す



APAC・中国

■ 市場の動向

ベトナム・インドネシアの回復によりタイの低迷を相殺
中国は不動産市況低迷継続

■ 足元の進捗

APACは増収とコスト管理により黒字確保
中国は売上苦戦するも黒字確保

■ 下期の見通し

APACは供給体制の最適化を継続
中国は利益率を確保しつつ慎重な経営を維持

前年同期比で増収減益

■ 売上収益 7,625億円、前年同期比 265億円増

- ・ 2Q3ヵ月（増減率）：国内 +1%、海外 +8%（為替影響除く、+1%）
- ・ 上期6ヵ月（増減率）：国内 -1%、海外 +12%（為替影響除く、+3%）

■ 事業利益 55億円、前年同期比 114億円減

- ・ 2Q3ヵ月（増減額）：
LWT +22億円、LHT -47億円、Living -4億円、連結調整/他 -11億円
- ・ 上期6ヵ月（増減額）：
LWT +23億円、LHT -112億円、Living -13億円、連結調整/他 -12億円

■ EBITDA⁽¹⁾ 473億円、前年同期比 105億円減

■ 最終中間利益⁽²⁾ -46億円、前年同期比 79億円悪化

- ・ 2Q3ヵ月（増減額）：その他費用ならびに金融費用は減少するも、事業利益減少、税金費用増加により前年比53億円悪化
- ・ 上期6ヵ月（増減額）：その他費用ならびに金融費用は減少するも、事業利益減少、税金費用増加により前年比79億円悪化

(1) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費

(2) 最終中間利益 = 親会社の所有者に帰属する中間利益

2027年3月期 上期 連結業績結果

LIXIL

6

	上期 6ヵ月				第2四半期 3ヵ月		
(億円)	26/3期	27/3期	前年 同期比	%	27/3期	前年 同期比	%
売上収益	7,359	7,625	+265	+3.6%	3,832	+120	+3.2%
売上総利益	2,519	2,500	-19	-0.8%	1,255	-16	-1.3%
(%)	34.2%	32.8%	-1.4 pt	-	32.8%	-1.5 pt	-
販管費	2,350	2,444	+94	+4.0%	1,217	+24	+2.0%
事業利益 ⁽¹⁾	169	55	-114	-67.3%	38	-40	-51.3%
(%)	2.3%	0.7%	-1.6 pt	-	1.0%	-1.1 pt	-
最終中間利益 ⁽²⁾	34	-46	-79	-	-11	-53	-
EPS (円)	11.67	-15.96	-27.63	-	-3.76	-18.60	-
EBITDA ⁽³⁾	578	473	-105	-18.2%	246	-38	-13.4%
(%)	7.9%	6.2%	-1.7 pt	-	6.4%	-1.2 pt	-

- **売上総利益率**：前年同期比1.4pt悪化
- **販管費**：国内人件費、海外販管費の増加に加え、為替換算影響を主因に前年同期比94億円の増加（日本+6億円、海外+15億円、為替換算影響+73億円）。販管費率は、0.1pt悪化
- **事業利益率**：前年同期比1.6pt悪化

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する中間利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

LWTは、日本・海外事業ともに増益。LHTは、主に原材料価格高騰により減益。
Livingは、為替悪化および資材高騰影響を受け減益

		上期 6ヵ月			第2四半期 3ヵ月	
(億円)		26/3期	27/3期	前年同期比	27/3期	前年同期比
LWT	売上収益	3,929	4,227	+299	2,125	+128
	事業利益	206	228	+23	121	+22
LHT	売上収益	2,592	2,523	-68	1,276	-33
	事業利益	123	11	-112	15	-47
Living	売上収益	1,003	1,033	+30	512	+21
	事業利益	34	22	-13	9	-4
全社/連結調整	売上収益	-164	-160	+5	-80	+4
	事業利益	-194	-206	-12	-106	-11
合計	売上収益	7,359	7,625	+265	3,832	+120
	事業利益	169	55	-114	38	-40

為替影響⁽¹⁾

2Q3ヵ月：売上収益 +92億円、事業利益 +4億円 上期6ヵ月：売上収益 +230億円、事業利益 +11億円

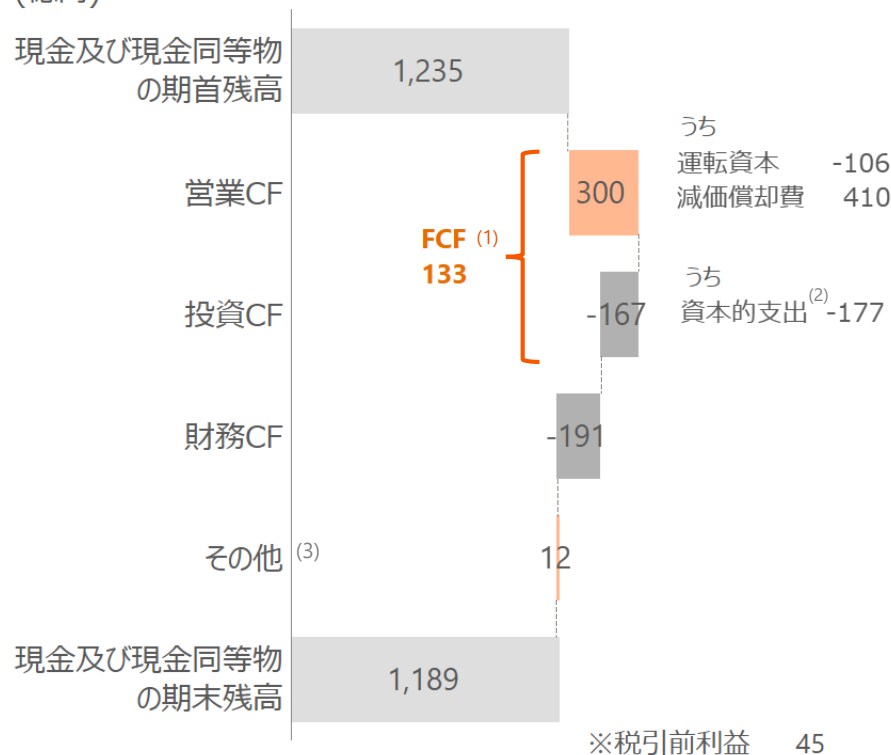
(1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

資産合計		負債・資本合計		現金及び現金同等物	
前期末 (2026/3/31)	当四半期末 (2026/9/30)	前期末 (2026/3/31)	当四半期末 (2026/9/30)	前期末 (2026/3/31)	当四半期末 (2026/9/30)
18,839	18,677	18,839	18,677	1,156	1,114
流動資産 7,189	流動資産 7,395	流動負債 5,605	流動負債 5,955		
▲162 (うち 為替換算 影響-239)		▲162 (うち 為替換算 影響-239)			
非流動資産 11,650	非流動資産 11,282	非流動負債 6,551	非流動負債 6,360	-5,316	-5,786
		純資産 6,684	純資産 6,363	-6,472	-6,900
				Net 有利子負債	
				有利子負債	

運転資本の増加ならびに税引前利益悪化により営業キャッシュフローが減少した影響により、フリーキャッシュフローはマイナス。中東情勢・下期需要期に向けた一時的な在庫増あり

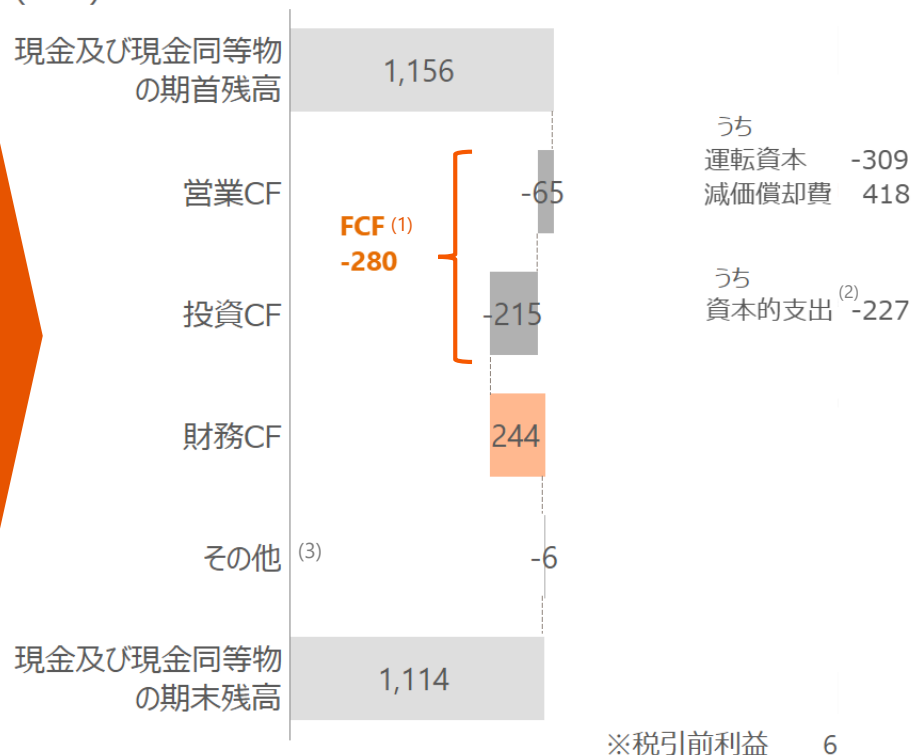
26/3期 上期

(億円)



27/3期 上期

(億円)



(1) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算
 (2) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得
 (IFRS16 リースによる使用権資産の取得を除く)

(3) 「その他」= 為替換算影響額

セグメント別決算の概要

- ウォーターテクノロジー事業 (LWT)
- ハウジングテクノロジー事業 (LHT)
- リビング事業 (Living)



国内・海外事業ともに増益。国内はリフォーム向け売上が回復。海外事業は、中国を除く地域で増収。各地域でのコスト上昇あるも、価格改定効果や米国における構造改革効果により相殺し、増益

(億円)		26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	前年同期比		27/3期 業績予想
				増減	%	
日本	売上収益	1,540	1,573	+33	+2.2%	3,250
	事業利益	96	108	+12	+12.3%	210
	%	6.3%	6.9%	+0.6 pt	-	6.5%
海外	売上収益	2,389	2,654	+265	+11.1%	5,500
	事業利益	109	120	+11	+10.1%	310
	%	4.6%	4.5%	+0.0 pt	-	5.6%
LWT合計	売上収益	3,929	4,227	+299	+7.6%	8,750
	事業利益	206	228	+23	+11.1%	520
	%	5.2%	5.4%	+0.2 pt	-	5.9%

売上収益

- **日本**：1Qは供給不安により新築が優先されたが、2Qにリフォーム売上が回復、新築向け売上共に前年同期比で増収
- **海外⁽¹⁾**：堅調な価格改定の実現と販売数量の伸長により、現地通貨ベース・円貨ともに増収。地域別では、欧州、インド、中東、アフリカ地域が売上成長を牽引
- **海外売上比率**：前年同期比2.0pt増の62.8%

事業利益

- **日本**：資材価格高騰を価格改定効果で補い、前年同期比増益
- **海外⁽¹⁾**：各地域での原材料費や物流費の上昇あるも、価格改定効果や米国における構造改革効果により相殺し、増益
- **海外事業利益比率**：前年同期比0.5pt減の52.6%

(1) 為替影響を除く前年同期比：売上収益 +38億円、+2%。事業利益 -9億円、-8%

ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

LIXIL

12

地域別 (マネジメントベース) ⁽¹⁾ (億円)	26/3期 上期実績		27/3期 上期実績			27/3期 業績予想	
	売上	事業利益	売上 (前年同期比)	事業利益	事業利益率	売上	
米州	763	-43	766 (0%)	-8	-	1,700	+13%
欧州	1,002	105	1,021 (+2%)	93	9%	1,900	+8%
インド、中東、アフリカ地域	369	50	420 (+14%)	41	10%	810	+12%
アジア太平洋地域	202	3	212 (+5%)	3	1%	500	+13%
中国	217	11	181 (-16%)	5	3%	390	+4%
連結調整・他	-163	-17	54 -	-13	-	200	-
LWT 海外合計⁽¹⁾ (制度会計ベース)	2,389	109	2,654 (+11%)	120	4.5%	5,500	+12%

米州	欧州	インド、中東、アフリカ	アジア太平洋	中国
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 販売数量の伸び悩みを価格改定効果およびリテール向け売上の成長によりオフセットし、売上は横ばい ✓ 構造改革効果による販管費の削減および関税還付が収益性の大幅な改善に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ドイツ、東欧での販売数量増加が、フランスの需要低迷を相殺し増収 ✓ 販売数量は増加したものの、海上運賃高騰、販管費増加等のコスト上昇影響により、事業利益は前年同期比で減益 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インド、サウジを除く湾岸諸国、北西アフリカなど主要市場の販売数量の増加により増収 ✓ 販売数量の増加が、中東情勢に伴うコスト上昇、営業体制強化のための販管費増および為替影響で相殺され、減益 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ タイの低迷をベトナム、インドネシアの成長が相殺し増収 ✓ ミックス改善し、粗利は改善したものの、販管費増加により、事業利益は前年同期比横ばい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ eコマースは増収も、不動産市況低迷継続によりプロジェクト向けの不振が継続し、減収 ✓ 販売数量の減少により減益したものの、販管費の支出抑制により黒字を維持

(1) 制度連結会計 為替レート： 27/3期 上期実績 1USD=160.02円、1EUR=184.39円
マネジメントベース為替レート： 27/3期 1USD=155.0円、1EUR=186.0円

日本事業は、リフォーム売上が低調に推移し減収。アルミ・資材価格高騰の影響を受け大幅減益。海外事業はアルミ価格上昇に連動した売価影響により前年比増収、利益微増

(億円)		26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	前年同期比		27/3期 業績予想
				増減	%	
日本	売上収益	2,463	2,350	-113	-4.6%	5,050
	事業利益	119	5	-114	-95.9%	275
	%	4.8%	0.2%	-4.6pt	-	5.4%
海外	売上収益	129	173	+44	+34.4%	320
	事業利益	4	6	+2	+53.8%	15
	%	3.0%	3.5%	+0.4pt	-	4.7%
LHT合計 (1)	売上収益	2,592	2,523	-68	-2.6%	5,370
	事業利益	123	11	-112	-91.1%	290
	%	4.7%	0.4%	-4.3pt	-	5.4%

売上収益

- 日本：リフォーム売上が低調に推移し前年同期比減収
- 海外：アルミ価格上昇に連動した売価影響により前年同期比増収

事業利益

- リフォーム売上が低調に推移、原材料・資材価格高騰の影響を、一部価格改定でカバーするも、在庫評価益剥落により、前年同期比大幅減益
- ビル事業は、高収益物件の引渡数減少、原材料・資材価格高騰、1Qにおける在庫評価益剥落の影響を受け、事業利益は低迷

(1) 2027年3月期上期実績（ご参考）

LHTビル事業除く
ビル事業

売上収益 2,118億円、事業利益 26億円、事業利益率 1.2%

売上収益 406億円、事業利益 -15億円、事業利益率 -

前年比増収なるも、為替悪化と資材高によるコスト上昇の影響を受け減益

(億円)		26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	前年同期比		27/3期 業績予想
				増減	%	
Living合計	売上収益	1,003	1,033	+30	+3.0%	2,150
	事業利益	34	22	-13	-37.0%	100
	%	3.4%	2.1%	-1.3 pt	-	4.7%

売上収益

- リフォーム向け売上が好調に推移。前年同期比で増収

事業利益

- 為替悪化・資材高によるコスト上昇を価格改定によりカバーするも、前年同期比減益

キッチン「ノクト」



洗面化粧台「カスタム バニティ」



インテリア建材「ラシッサ」



➤ (ご参考) データ集

LWT・Livingは、中東情勢による納期調整影響の正常化に伴い好調。LHTは、エクステリアは好調なるも、補助金対象商材の売上低調などにより住宅サッシは前年比マイナス

セグメント	主要商品名	(億円)				前年同期比 (%)					
		26/3期 通期実績	26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	前年 同期比 (%)	前年同期比				27/3期	
						26/3期				27/3期	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
LWT	衛生機器**	1,182	563	595	+5.6%	+8.6	+2.5	-0.4	+1.1	+3.6	+7.4
	バスルーム	951	461	472	+2.4%	+6.3	-0.1	+0.3	+5.2	-4.1	+9.7
	タイル	297	143	142	-0.9%	-2.6	-0.5	-3.8	+0.2	+0.6	-2.4
LHT	住宅サッシ	1,893	944	905	-4.2%	+0.6	-0.5	+4.7	-2.9	-3.6	-4.8
	エクステリア	968	481	507	+5.5%	+3.7	+1.3	-0.8	+6.1	+4.6	+6.5
	その他LHT	370	192	187	-2.5%	+1.4	-0.6	-7.8	-11.3	-4.5	-0.5
	ビルサッシ	978	461	406	-12.1%	-9.3	-2.2	+3.7	-5.6	-14.8	-9.9
	住宅・サービス事業	172	86	75	-12.4%	-6.8	-11.1	-12.9	-6.5	-13.9	-11.0
Living	キッチン	1,023	495	509	+2.7%	+6.8	+1.4	-0.1	0.0	+0.6	+5.0
	洗面化粧台	376	177	191	+7.9%	+3.4	+1.4	+0.8	+4.9	+8.4	+7.4
	インテリア建材	568	275	274	-0.5%	+3.0	-2.4	-3.8	+0.6	-1.7	+0.8
	海外売上 (1)	5,209	2,518	2,828	+12.3%	-8.5	+1.0	+2.4	+6.6	+17.1	+7.8
	その他・連結調整等	1,121	562	535	-						
売上合計		15,107	7,359	7,625	+3.6%	-1.4	+0.3	+0.5	+2.2	+4.0	+3.2

(ご参考) **「衛生機器」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	299	140	150	+6.9%	+16.0	+4.3	+2.4	+6.6	+4.3	+9.6
-----	------	-----	-----	-----	-------	-------	------	------	------	------	------

(1) 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.18参照

リフォーム商材売上構成比は前年比0.1pt上昇。LWTは1Qの新築優先が解消、Livingは中高級品好調でリフォーム売上好調も、LHTは低調に推移

(億円)	上期 6ヵ月				第2四半期 3ヵ月	
	26/3期 実績 ⁽¹⁾	27/3期 実績	増減	前年 同期比	27/3期 実績	前年 同期比
リフォーム商材売上	1,941	1,940	-1	-0.1%	995	+2.4%
LWT-J				+4%		+9%
LHT				-5%		-4%
ビル事業除く				-6%		-8%
ビル事業				+3%		+16%
Living				+4%		+6%
リフォーム売上構成比	47%	48%	+0.1pt		48%	+0.7pt

セグメント別リフォーム売上構成比

	26/3期 上期	27/3期 上期	増減
LWT	57%	57%	+0.1pt
LHT	42%	42%	-0.5pt
Living	49%	50%	+0.7pt
国内・計	47%	48%	+0.1pt

リフォーム内窓「インプラス」



(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

ブランド・ポートフォリオやグローバルな開発体制、差別化された商品の展開により、
現地ニーズに迅速に対応し、海外事業の成長を促進⁽¹⁾

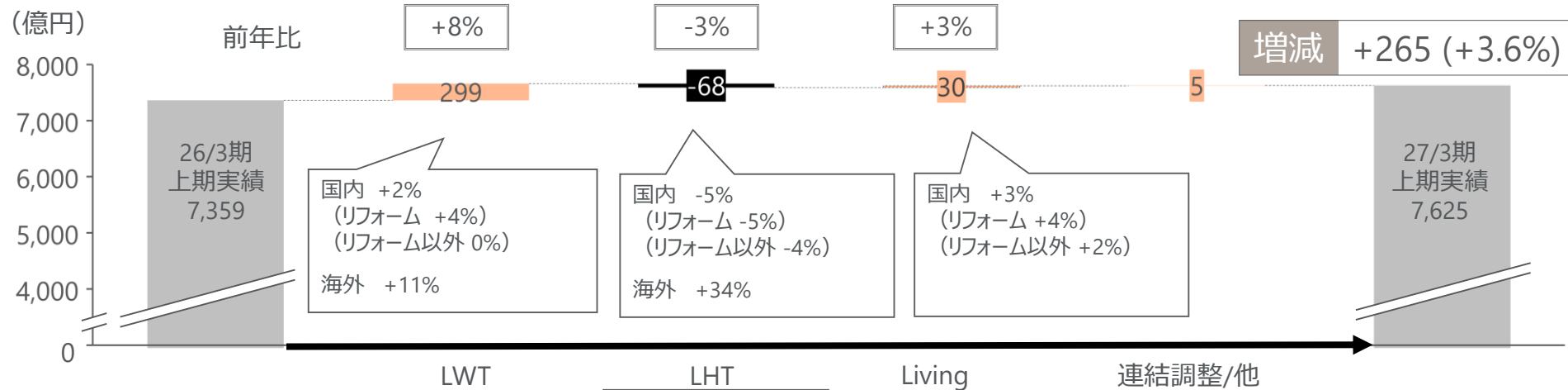
	27/3期 上期 6ヵ月						27/3期 第2四半期 3ヵ月					
	海外 事業 合計	米州	欧州	インド、 中東、 アフリカ 地域	アジア 太平洋 地域	中国	海外 事業 合計	米州	欧州	インド、 中東、 アフリカ 地域	アジア 太平洋 地域	中国
売上構成比												
水栓金具 (浴室)	44%	13%	61%	61%	35%	50%	44%	13%	62%	61%	36%	48%
衛生陶器等	42%	67%	23%	36%	62%	37%	43%	68%	22%	36%	61%	39%
水栓金具 (キッチン)	9%	5%	16%	4%	2%	5%	9%	5%	16%	4%	2%	4%
浴槽・シャワーシステム	3%	11%	0%	0%	1%	1%	3%	11%	0%	0%	1%	1%
その他	2%	3%	0%	0%	1%	7%	2%	4%	0%	-1% ⁽²⁾	1%	8%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
売上伸び率												
水栓金具 (浴室)	+5%	+1%	+5%	+15%	+8%	-14%	+2%	-0%	+1%	+16%	+10%	-23%
衛生陶器等	+1%	+2%	-4%	+15%	+6%	-20%	-2%	+2%	-13%	+10%	+1%	-21%
水栓金具 (キッチン)	-0%	-8%	+4%	+7%	-29%	-24%	-2%	-10%	+3%	+11%	-24%	-42%
浴槽・シャワーシステム	-13%	-13%	+8%	+9%	-15%	-39%	-11%	-10%	-17%	-13%	-26%	-41%

(1) LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』の進捗については統合報告書2026 p.25-27、33をご参照ください

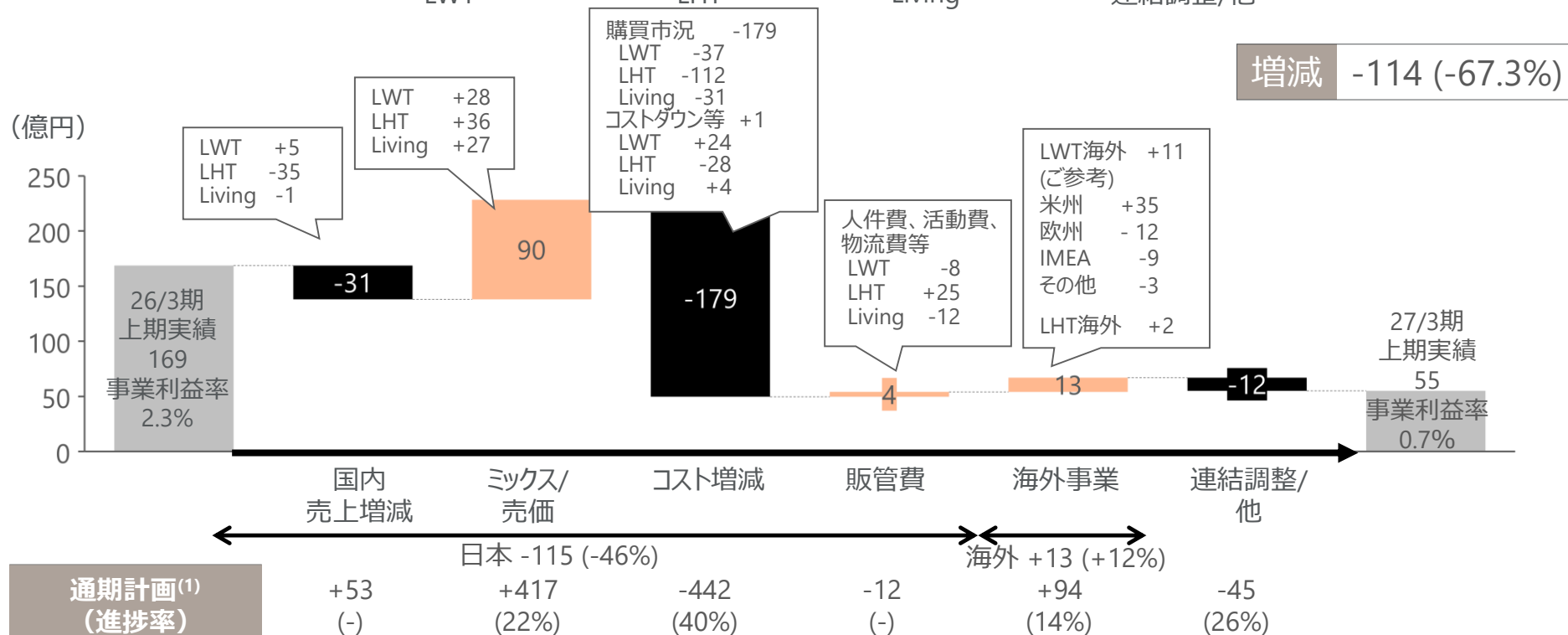
https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_ym37/206312/00.pdf#page=26

(2) カテゴリー別売上と全体売上の乖離。計上時期のずれによる一時的要因であり翌月以降解消見込み

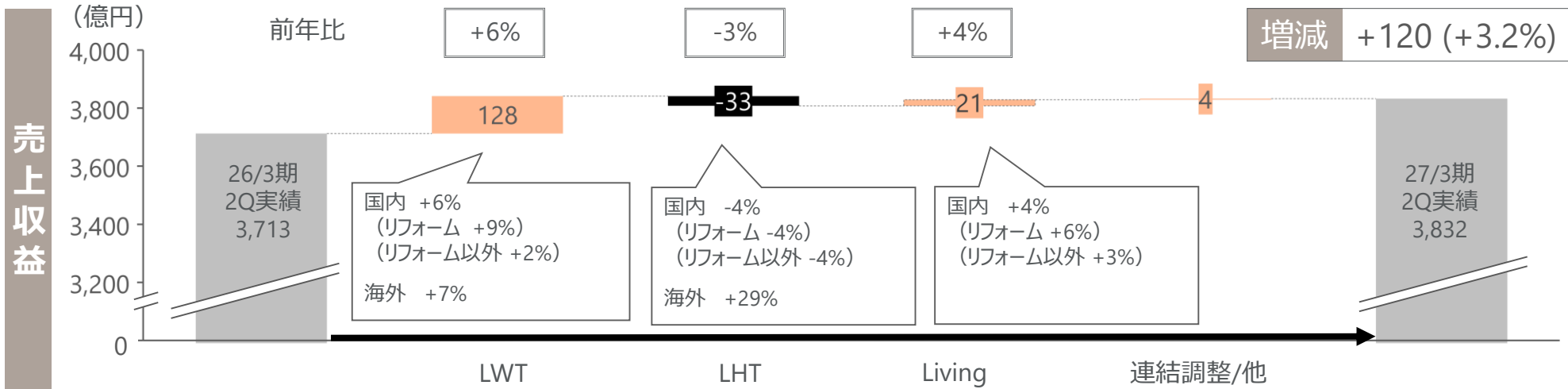
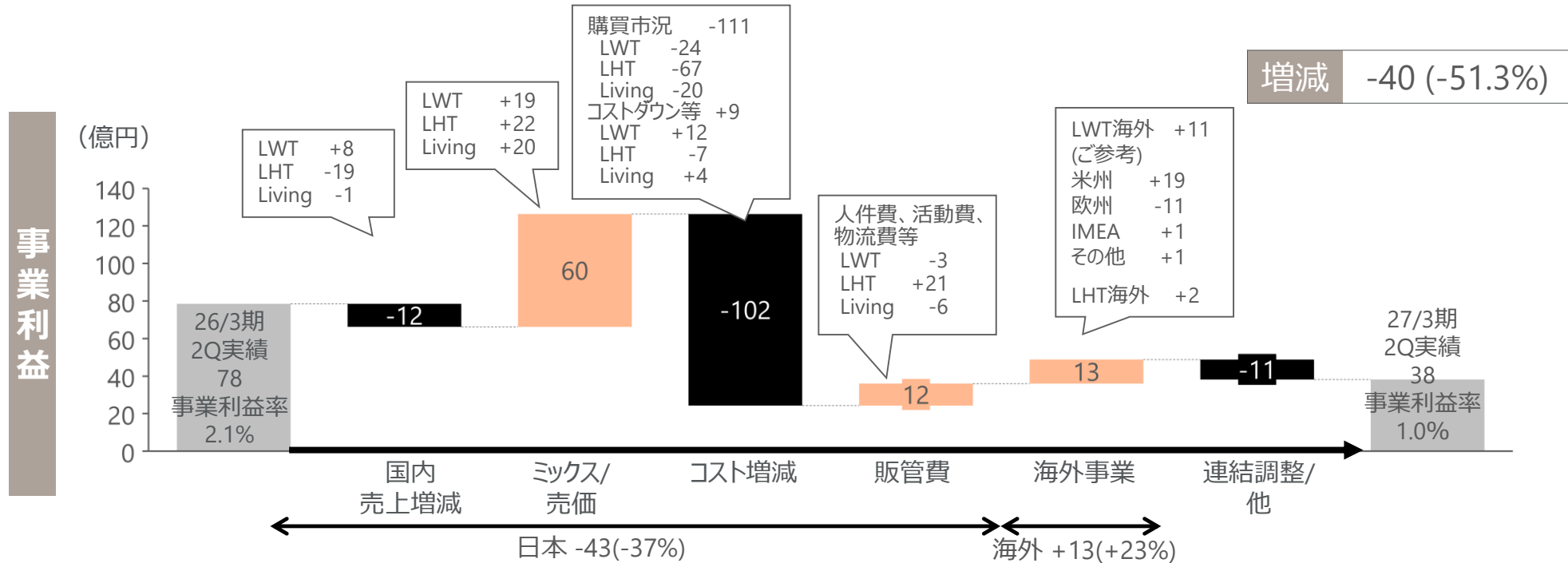
売上収益



事業利益



(1) 通期計画は、2027年3月期 第1四半期決算説明資料P2「中東情勢による影響ならびに対応策」を反映後の計画値



2027年3月期 第2四半期（中間期） 〉 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

	26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	増減
(億円)			
持分法適用に伴う再測定による利益	16	-	-16
売却目的で保有していた資産の処分益	-	16	+16
その他	25	29	+4
その他の収益	41	45	+3
有形固定資産処分損	4	5	+1
減損損失	27	3	-24
その他	65	29	-37
その他の費用	96	36	-60
受取利息	11	11	0
受取配当金	7	5	-2
デリバティブ評価益	1	-	-1
その他	1	2	+1
金融収益	20	18	-2
支払利息	56	67	+11
為替差損	30	1	-30
デリバティブ評価損	-	1	+1
その他	0	0	0
金融費用	87	69	-18

- その他の収益：ベトナム・タイにおける不動産処分益

セグメント別 実績及び通期業績予想

LIXIL

22

		26/3期 上期			27/3期 上期				27/3期 通期予想			
		日本	海外	計	日本	海外	計	前年 同期比%	日本	海外	合計	前期比 %
(億円)												
LWT	売上収益	1,540	2,389	3,929	1,573	2,654	4,227	+7.6%	3,250	5,500	8,750	+7.9%
	事業利益	96	109	206	108	120	228	+11.1%	210	310	520	+14.4%
	%	6.3%	4.6%	5.2%	6.9%	4.5%	5.4%	+0.2 pt	6.5%	5.6%	5.9%	+0.3 pt
LHT	売上収益	2,463	129	2,592	2,350	173	2,523	-2.6%	5,050	320	5,370	+2.2%
	事業利益	119	4	123	5	6	11	-91.1%	275	15	290	+8.6%
	%	4.8%	3.0%	4.7%	0.2%	3.5%	0.4%	-4.3 pt	5.4%	4.7%	5.4%	+0.3 pt
Living	売上収益	1,003		1,003	1,033		1,033	+3.0%	2,150		2,150	+3.6%
	事業利益	34		34	22		22	-37.0%	100		100	+27.5%
	%	3.4%		3.4%	2.1%		2.1%	-1.3 pt	4.7%		4.7%	+0.9 pt
連結調整 ・他 ⁽¹⁾	売上収益			-164			-160	+3.0%			-270	-
	事業利益			-194			-206	-6.1%			-460	-
LIXIL ⁽¹⁾	売上収益	5,006	2,518	7,359	4,957	2,828	7,625	+3.6%	10,450	5,820	16,000	+5.9%
	事業利益	250	113	169	135	126	55	-67.3%	585	325	450	+16.9%
	%	5.0%	4.5%	2.3%	2.7%	4.5%	0.7%	-1.6 pt	5.6%	5.6%	2.8%	+0.3 pt

(1) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

➤ (ご参考) 事業関連・ESG関連トピックス

■ 脱炭素・資源循環型社会への貢献

「Reuters Global Sustainability Awards 2026」
LIXILが「Circularity」部門 最優秀賞を受賞⁽¹⁾



- ・ 循環型社会の実現に向け、先進的な資源リサイクル技術を活用した取り組みが高く評価され、世界的に権威ある本アワードの「Circularity部門」で最優秀賞を受賞
- ・ 循環型低炭素アルミ「PremiAL」、廃プラスチック・廃木材を活用した循環型素材「revia」を展開し、資源の循環利用の促進と持続可能な基盤づくりを推進
- ・ 本年10月に新設したLHTのグローバル統括組織「LHT Global」を通じて、両素材の海外展開を加速し、天然資源への依存低減とグローバルな事業成長を両立

(1)ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20261023_reutersawards

■ イノベーションを通じた付加価値の向上

日本の温水洗浄便座が歴史的偉業として
「IEEE Milestone」に認定⁽²⁾



- ・ 当社を含む3社の開発の取り組みが、「おしりを洗う」文化を日本に根づかせた歴史的偉業として、電気・電子分野の世界最大の技術専門家組織であるIEEEより、「IEEE Milestone」に認定
- ・ 1967年に旧伊奈製陶（現LIXIL）が国産初の温水洗浄便座「サニタリイナ61」を発売して以来、半世紀以上にわたり、人々の衛生意識の向上、衛生技術の変革を推進
- ・ 「ビデ専用ノズル」や「アクアセラミック」など技術革新を継続。技術力と信頼性を強みに、高付加価値戦略を展開

(2)ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2026100501>

■ 気候変動対策の推進

「住まいから未来へつなぐプロジェクト2026」住宅の高断熱化とユニセフを通じた子どもたちの支援⁽¹⁾



※写真の子どもたちはユニセフの支援事業による受益者ではありません。※ユニセフは特定の企業やブランド、製品やサービスを推奨していません。

- 2026年10月より住宅の脱炭素化と気候変動の影響を受ける子どもたちの支援を組み合わせた本プロジェクトを開始
- 2023年に始まった本プロジェクトは4年目を迎え、過去の寄付総額は約8,000万円。ユニセフを通じて気候変動の影響を受ける子どもたちへの緊急支援や予防・環境教育活動などに活用⁽²⁾
- 高断熱商品の普及と寄付を通じた取り組みにより、気候変動の緩和と適応の両面に貢献

■ 社会課題の解決による持続可能な成長

第48回技能五輪国際大会に協賛
事業基盤となる次世代施工技能者を支援⁽³⁾



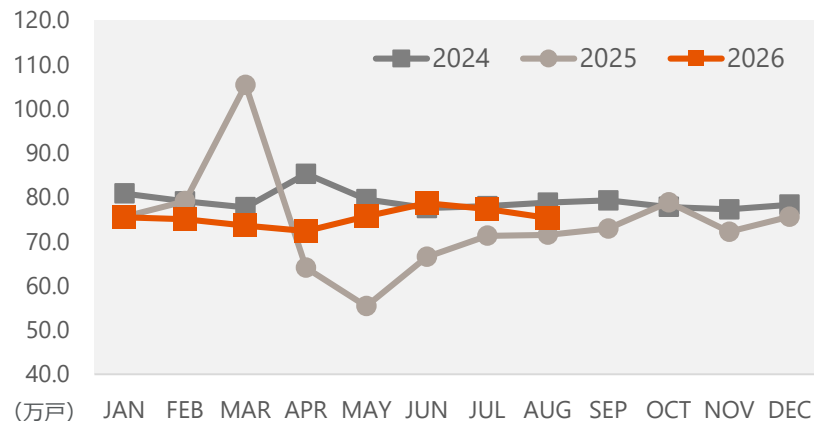
- 深刻化する世界的な熟練技能者不足への対策として、本大会に協賛。GROHEの先端製品を提供し、次世代を担う専門技能者の実践と挑戦を支援
- 持続可能な社会インフラを支える現場プロフェッショナルの育成をグローバルで強化。あわせて水資源問題などの解決に重要な専門家ネットワークの構築にも貢献
- LIXILは、WorldSkills Internationalへの協賛に加え、日本や欧州、米国などの地域における独自のグローバル技能研修プログラムを通じ、継続的な人材育成を推進

(1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2026090101>

(2) ウェブサイト <https://www.lixil.co.jp/minnadesmileecopj/thinkheat/sumamira>

(3) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20260928_worldskills_partnership

日本における新築着工数の推移 (季節調整値年率)



新築着工水準 (対前年比)

- 2026/1-6： +0.5%
- 2026/1-8： +5.3%

	2026年1月-8月 (8ヵ月)		2026年4月-8月 (5ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	494,226	+2.3%	317,203	+14.5%
持家(1)	132,578	+2.4%	86,000	+12.0%
貸家	219,918	+2.4%	143,166	+17.2%
分譲マンション	54,112	-8.0%	32,839	+7.5%
分譲戸建(2)	81,782	+10.3%	51,601	+19.0%
戸建合計(1)+(2)	214,360	+5.3%	137,601	+14.5%

アルミ価格 出所：LME 3ヵ月先物 (24/4/1-26/10/23)



銅価格 出所：LME 3ヵ月先物 (24/4/1-26/10/23)



為替 (期中平均レート)	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 計画前提
米ドル	152.48円	150.97円	155.0円
ユーロ	163.62円	174.54円	186.0円

原材料価格の実績	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	39.8万円/トン	41.3万円/トン	47.0万円/トン
銅合金価格	117.0万円/トン	124.3万円/トン	133.6万円/トン

（ご参考）2016年3月期よりIFRSに移行しています
各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益（CE）
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当



この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE

世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現